

申請者	医療安全管理係長	岡崎 富美子
29-1	転倒転落防止に向けた医療従事者のノンテクニカルスキルに関する教育プログラムの構築	
研究の概要	入院患者に対する医療従事者の転倒転落予防対策のノンテクニカルに関する実態を研究者が作成した「転倒転落予防のノンテクニカルスキル評価」を用いて明らかにし、明らかになった病院のノンテクニカルの違いに対応した教育プログラムを立案し、実施、評価について複数の医療安全管理者を行うことで現場に使用できる実効性のある転倒転落予防教育プログラム構築を目指す。	
判定	承認	

申請者	看護師	早川 朝子
29-2	重症心身障がい児（者）看護に携わる看護師が直面する問題点とその特徴	
研究の概要	重症心身障がい児（者）はコミュニケーションの難しさに加え、日常生活ケアが中心であり、新卒・既卒を問わず、入職当初は何をどう援助してよいか戸惑う看護師が多い。このことから入職して日の浅い看護師、指導的立場にある看護師それぞれの仕事に対する戸惑いややりがいなど、個々が抱える問題点とその特徴を明確にし、理論と経験を生かした看護を展開できる支援体制を充実させたくアンケート等を通じて調査研究を試みる。	
判定	承認	

申請者	看護師	磯崎 由有子
29-3	意思疎通が困難な重症心身障がい児とのコミュニケーションボードの検討	
研究の概要	従来トーキングエイドを用いてコミュニケーションを取っていた重症心身障がい児が体力低下に伴い、仕様が困難になってきている現状がある。今後の看護実践において個別のコミュニケーションボードを作成し、担当スタッフ以外でも共通して意思疎通が図れるようなコミュニケーションの方法を検討する。	
判定	承認	

申請者	看護師	吉田 絵菜
29-4 モニターや人工呼吸器アラームに対する看護師の意識調査		
研究の概要	<p>当該病棟では神経難病、脳血管疾患、高次機能障害患者が多く入院する病棟であり、人工呼吸器装着者が全体の60%、モニター管理は90%を占めている。異常を知らせるアラーム機能を備えた医療機器がセントラルモニターを始め多種にわたり、常にどこかしらで鳴っている状況の中、即時に対応できずに放置してしまうことも少なくないため、生命に重大な影響を及ぼすリスクにさらされている。このことから看護師個々のアラームに対する危機意識をアンケートを用いて明らかにしリスク軽減の改善策に役立てる。</p>	
判定	承認	

申請者	副看護師長	吉田 恵美子
29-5 神経難病・重症心身障がい児（者）病棟の4年目看護師へのナラティブアプローチの効果		
研究の概要	<p>入職4年目でプリセプターを努めている看護師に対し、自己成長を促す機会として、ナラティブアプローチを用いた効果を明らかにする。</p>	
判定	承認	

申請者	診療部長	川上 弦一郎
29-6 長期臥床患者の肺炎の成因と栄養管理による肺炎予防の前向き調査		
研究の概要	<p>寝たきり患者では誤嚥を生じやすく、また、口腔ケアを患者自身ができないため誤嚥性肺炎を起こしやすいと指摘されている。口腔ケアが肺炎を減少させること、および口腔ケアを受けていても肺炎を発症する寝たきり患者では低栄養および尿路感染症が肺炎発症の要因として挙げられることをこれまでの後ろ向き調査の結果を強固とするため、前向き調査を行い関係性について調査する。</p>	
判定	承認	